



岩槻幼稚園・2025年度4月号

<2025年度4月の聖句>

あなたがたは神に愛されている子供です。

エフェソの信徒への手紙 5:1

～ 心にとめて ～

岩槻幼稚園の2025年度のあゆみがはじまりました。ひとつおにいさんおねえさんになったおともだちに。そして、これから新しくようちえんでお過ごしするおともだちに心からお祝い申し上げます。

せんせいやおともだちとどんな楽しいことができるかなあというワクワクや、お父さんやお母さんたちとはなれてようちえんでの生活がはじまることのドキドキ。小さなおこころに、色んなお気持ちがぐるぐるしていると思います。

わたしも、そんなおともだちのみんなと同じです。長いあいだようちえんのお父さんとしてみんなを守っていた小林園長せんせいからバトンを引き継ぐ。その大きな責任を感じています。

ですが、ひとつ安心していることがあります。それは、わたしがこれまで務めていたようちえんと、この岩槻幼稚園がたいせつにしているものが「同じ」であるからです。

キリスト教保育は神さまに愛されている子として保育をしていきます。神さまのたからものである子どもをたいせつにする。ここからすべてがはじまるのです。

神さまに愛され、おうちのひとに愛されて、せんせいたちに愛されて。その安らぎのなかで、その子にしかない個性が輝いていきます。お顔も、背丈も、好きなものも得意なこともちがう。でも、みんなかけがえのない、神さまのだいじなだいじな子どもです。この「同じ」が、それぞれちがうおともだちを結び合わせて、愛し合うおこころが育まれていきます。

愛される喜びのなかで、ちがいを楽しむ。同じだからちがっていいようちえんでの生活のなかで、自分らしくおおきくなってくること。

それが、園長であり、牧師であるわたしの願いです。

岩槻教会牧師・岩槻幼稚園園長 清水 義尋

<今月のねがい> — だいじょうぶ / 神さまに愛されて—

- ・新しい出会いの中で、進級児も新入園児も保育者と一緒に賛美や祈りを通して神さまの愛に包まれている雰囲気を感じる
- ・これまでの体験や関わりに重ねて、遊びの続きや友だちとの交わりを喜ぶ
- ・身近な花や草、虫を保育者と一緒にみつけ、春の訪れを感じる

